

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																																														
大阪デザイナー専門学校		1977/4/1	長尾 大樹		〒 530-0003 (住所) 大阪府大阪市北区堂島2-3-20 (電話) 06-6345-4676																																														
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																																														
学校法人Adachi学園		1967/1/12	安達 暁子		〒 102-0081 (住所) 東京都千代田区神田駿河台二丁目11 (電話) 03-5283-6288																																														
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																																													
文化・教養	デザイン専門課程	インテリアデザイン学科			平成6年文部科学省 認定	-																																													
学科の目的	インテリア空間が人に及ぼす影響を理解し、空間ごとに異なる条件下において求められる空間の質的向上を目指し、専門知識、設計・デザインスキル、デジタルスキルの習得に取り組む。																																																		
認定年月日	2018/2/17																																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																												
2年	昼間	1920時間	572時間	68時間	1280時間	0	0																																												
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																														
120人	32人	2人	1人	12人	13人																																														
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準: 課題評価、試験等の評価による 評価の方法:																																														
長期休み	■夏季: 7月26日～9月5日 ■冬季: 12月20日～1月9日 ■春季: 3月20日～4月4日			卒業・進級条件	卒業要件: 規定単位の修得及び卒業課題に合格し、 進級要件: 規定単位の修得及び進級課題に合格する。																																														
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 学生サポートチームによる個別相談や、保護者連絡により対応。専門カウンセラーによるサポート有。			課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学校祭、研修旅行等 ■サークル活動: 有																																														
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) 店舗設計事務所、住宅設計施工会社、施工会社、家具販売会社 ■就職指導内容 業界把握や自己分析などの就職対策授業: 進路個人面談を 通年で実施。事務所見学や合同業界説明会など就職対策イ ■卒業生数 15 人 ■就職希望者数 15 人 ■就職者数 13 人 ■就職率 86 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 90 % ■その他 ・進学者数: 0人			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パス検定</td> <td>③</td> <td>14人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 0			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	パス検定	③	14人	13人																																				
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																																
パス検定	③	14人	13人																																																
中途退学の現状	■中途退学者 12名 令和3年4月1日時点において、在学者40名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者33名(令和4年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、病気療養、進路変更、家庭事情 ■中退防止・中退者支援のための取組 欠席者への日々の電話連絡、面談、カウンセラーを交えた面談、補習授業への参加促進			■中退率 15%																																															
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 AO特待生制度、校友会入学時奨励金制度、校友会進級時奨励金制度。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 0																																																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL:																																																		
当該学科のホームページ	https://www.odc.ac.jp																																																		

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

社会が求めるニーズを敏感に読み取り、即応するカリキュラム編成とした実践教育を行うことを旨とする。

業界の今を的確に捉え、求められる知識、技術の育成に力点を置き、学ぶことで社会と直結した教育機関のあるべき姿を具体化する。教育効果を客観的視点で評価し、改善の方法を探る為の評議の場を設ける。本方針を共有できる企業との

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、校長と学務会議の間の位置付けとする。教育課程編成委員会を通して、学科が所属する業界の情報共有を委員会で行い、教育現場に反映させることが目的とする。挙げられた意見を学務会議にて議論、それを総長を総中として責任者会議に持ち込まれ、決議される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和〇年〇月〇日現在

名前	所属	任期	種別
嶋 高宏	一般社団法人 総合デザイナー協会	平成31年4月1日～令和5年3月31日(5年)	①
西岡 英人	イサナ創庵	令和2年4月1日～令和5年3月31日(3年)	③
長尾 大樹	大阪デザイナー専門学校 校長		—
三上 裕之	大阪デザイナー専門学校 キャリア長		—
松本 農	大阪デザイナー専門学校 教員		—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年3月1日 14:00～15:30

第2回 令和4年8月1日 14:00～15:30(予定)

0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

当年度においては、新型コロナ禍にあつて、企画されていたイベントが年度の途中で中止となり、計画どおりのカリキュラムを実施することが叶わなかった。中止が決定するまでの、依頼者とのやりとり、計画について評価をいただき、依頼者からも、「次年度も同企画で再度お願いしたい」旨をいただいた事を報告。学生たちの準備については特に指摘は無く、実現できていれば申し分ないという意見をいただいた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

連携企業指導担当者との連絡を密に取り、プロジェクトの決定、関係企業各位への連絡、調整、要望確認、現地見学、指導を経てプレゼンテーション(オンライン)まで一過したディレクションを行うことを基本とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

プロジェクト内容説明、関係企業からの要望確認、資料配布のうえ、コンセプトワーク、プラン提案指導
プレゼン資料作成指導、アドバイス、最終プレゼン方法指導、講評までの指導を担う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ワークショップ	サッカーチーム FC今治の新設スタジアム クラブハウスコーディネート提案	株式会社NINO (NINO inc.)

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

研修等を実施し、教員として必要な知識と質の向上を図り、学生の知識・技能等の修得と、充実した学校生活を提供できるよう、定期・不定期に拘らず関係教職員の指導力向上を目指す事を目的とし、実施するものとする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 「現代の設計デザイン」

連携企業等: HANA architects&associates株式会社

期間: 令和4年5月13日(金)

対象: 字科教員・講師・在校生

内容: 今の設計の流行や考え方などのレクチャー

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「ODCCオンライン著作権セミナー」

連携企業等: 大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会

期間: 令和3年10月14日(木)

対象: 全教員

内容: デザインにおける知的財産や著作権についてレクチャー。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 「店舗設計のこれから」

連携企業等: 株式会社船場

期間: 令和4年9月16日(金)

対象: 字科教員・講師・在校生

内容: 店舗設計に関するデザイン、技術、アプリケーション等を知り、将来の設計に関する考え方等を学ぶ。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: ハラスメント研修

連携企業等: 株式会社インソース

期間: 令和4年8月(実施月に変動あり)

対象: 全教員

内容: ハラスメントの理解を深め、個人と組織としてのハラスメント防止対策

研修名: メンタルヘルス研修

連携企業等: 株式会社インソース

期間: 令和4年10月(実施月に変動あり)

対象: 全教員

内容: ストレスについて正しい知識、自身のストレス要因、ストレス軽減について学び、労働環境を環境を考える

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校自己評価や日常の学校教育に対する評価・意見内容を教育活動面と学校運営面に分別し、学務・広報・事務の各部門で運営方針に照らし協議・検討する。その結果、授業内容に取り入れたり、改善・修正を要するとした場合は、部門より責任者会議の具体的な専議提案を上申し、最終的判断する事によって、第三者評価の効果的な活用を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念、学校の目的・特色の明確化と育成する人材像
(2) 学校運営	
(3) 教育活動	
(4) 学修成果	学校継続率、就職率の向上
(5) 学生支援	
(6) 教育環境	
(7) 学生の受入れ募集	学生募集は適正と活動上における教育成果の正確な伝達の確認
(8) 財務	予算・収支計画の有効性と財務面の適正
(9) 法令等の遵守	法令の遵守、個人情報の取り扱い確認
(10) 社会貢献・地域貢献	校舎周辺の定期的な清掃活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

基準1～9の全項目に置いて学校関係者評価委員会から概ね了承を得ている。今後の強化点として教育環境の整備、学外授業、防災に関する充実をはかる。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
山本 眞弘	株式会社 夢現社	令和3年4月1日～令和6年3月31日	企業等委員
菊地 武司	有限会社 リワークス	令和3年4月1日～令和6年3月31日	企業等委員
高畑 彰	高畑デザイン事務所	平成31年4月1日～令和5年3月31日	企業等委員
西森 幸司	西森幸司建築設計事務所	令和3年4月1日～令和6年3月31日	卒業生
萩森 誠	株式会社マッグガーデン 関西事業部	令和3年4月1日～令和6年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.odc.ac.jp>

公表時期: 2022/7/3

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校全般の状況を広く学校関係者、その他に情報提供をする事により、生徒・保護者・業界関係者の学校に対する理解、信頼を深め、社会に対する説明責任を果たす。また、企業、関係団体等とは情報を基にした連携、協力する事によって、カリキュラム策定の寄与を為し、実践教育の質を高めることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	建学の精神、所在地、校長名、沿革、歴史
(2) 各学科等の教育	設置学科の入学定員・収容定員・在学学生数、カリキュラム、進級・卒業
(3) 教職員	教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	健康診断、カウンセリング体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援活動
(8) 学校の財務	資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表
(9) 学校評価	自己評価表
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.odc.ac.jp>

公表時期: 2022/7/3

授業科目等の概要

(デザイン専門課程インテリアデザイン学科)															
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員	企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実	校内	校外		
1	○			空間計画	住空間、商業空間のそれぞれの計画、デザイン手法を学ぶ。	1前	34	2	○		○			○	
2	○			建築デザイン史	日本、西洋の建築様式を時代とデザインとの関係性から学び、空間デザインを提案する知識とする。	1前	34	2	○		○			○	
3	○			空間デザイン概論Ⅰ	日本のデザイナー、作品を中心に、空間構成要素を学び、デザイン性、作品性、意図などを考える。	1前	34	2	○		○			○	
4	○			空間研究Ⅰ	リサーチ、ケーススタディを重ね、デザイナーの視点、プラン、表現方法についての理解を深める。	1前	34	2	○		○			○	
5	○			空間デザイン概論Ⅱ	海外のデザイナー、作品を中心に、空間構成要素を学び、デザイン性、作品性、意図などを考える。	1後	34	2	○		○			○	
6	○			空間研究Ⅱ	デザインに対する嗜好、価値観を共有し、より魅力的な空間を提案するグループワークによるスタディ	1後	34	2	○		○			○	
7	○			材料学	仕上材料に関する知識とその特性に関して学ぶ。	1後	34	2	○		○			○	
8	○			構造学	木構造、RC構造等の構造形式と仕上材料の施工方法に関しての理解を深める。	1後	34	2	○		○			○	
9	○			パースⅠ	空間イメージをスケッチとして表現するための基礎技術力の習得を目指す。	1前	68	4	○		○			○	
10	○			パースⅡ	空間イメージをスケッチとして表現するための応用表現力の習得を目指す。	1後	68	4	○		○			○	
11	○			インテリア製図	木造、RC造建築物の基本図面表現を学ぶとともに、構造、施工に関する知識の習得を目指す。	1通	136	4	○		○			○	
12	○			CAD製図	Vector Worksの基本操作技術(2D、3D)を学び、コンピュータでの図面作製能力を育成する。	1通	136	4	○		○			○	
13	○			設計基礎	基本的な空間設計力の習得から、空間計画、空間演出に求められる視点、スキル向上を計る	1通	136	4	○		○			○	
14	○			インテリアデザイン基礎	発想、企画立案から計画、設計、プレゼンテーションに至る手法を基礎から学ぶ。	1通	136	4	○		○			○	
15	○			見学実習	空間を実体検することで、感覚で空間を理解する姿勢を育成し、魅力について考察する機会とする。	1通	68	2			○			○	

16	○	カラーコーディネート基礎	人と室内空間との調和を計る色彩デザインの在り方を探る。	2通	60	2	○		○		○	
17	○	作家作品論	近現代の日本、西洋の建築デザイン様式および思想を学び、教養的知識とする。	2通	60	2	○		○		○	
18	○	空間デザイン概論	ゲスト講師を招いての講座。リアルタイムで流通するデザイン手法、商品知識等を学ぶ。	2通	60	2	○		○		○	
19	○	ワークショップ	ゲスト講師を招いての講座。産学連携課題の指導を通じ、実社会でのデザインワークを学ぶ。	2通	60	2	○		○		○	○
20	○	デジタルワーク	photoshop, illustratorの基本から応用まで幅広く学び、デジタルスキルの向上を目指す。	2通	120	4	○		○		○	
21	○	CAD設計	Vector Worksでのレンダリングテクニック向上と、インテリア図面制作スキルの向上を目指す。	2通	120	4	○		○		○	
22	○	専攻実習	コース目的に特化した課題制作をとおし、より専門性の高い作品制作を行う。卒業制作へ移行する。	2通	120	4	○		○		○	
23	○	スタイリング演習	実現場を対象としたディスプレイテクニックを学ぶ。	2通	120	4	○		○		○	
24	○	リビングスタイル	基本的な住空間の設計手法を学ぶと共に、家族の物語を演出するデザイン力の向上を目指す。	2通	120	4	○		○		○	
25	○	ショップスタイル	ショップデザインにおけるマテリアル、照明、造形要素等の在り方に関して学ぶ。	2通	120	4	○		○		○	
26	○	3D CAD	より精緻な3D画像の制作および、3Dアニメーションの制作手法を学ぶ。	2通	120	4	○		○		○	
27	○	コーディネート概論	インテリアコーディネート資格取得を目標とし、その知識、態度の育成を目指す。	2通	120	4	○		○		○	
28	○	ジョブエクササイズ	業界理解、模擬面接、グループディスカッション、作品集制作等、希望の就職実現を目指す。	2通	60	2	○		○		○	
合計					28	科目	2280 単位 (単位時間)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件:	課題制作や試験等に合格し、且つ卒業制作を受理されること	1学年の学期区分	2期
履修方法:		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。